



## 平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月9日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2791 URL http://www.e-dkt.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 川田 知博 TEL 086-435-1100  
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績（平成25年6月1日～平成25年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	60,746	8.8	2,100	7.1	2,111	7.2	1,062	8.4
25年5月期第2四半期	55,808	18.6	1,960	△6.4	1,970	△5.6	979	△12.2

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 1,068百万円 (8.4%) 25年5月期第2四半期 985百万円 (△12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	75.76	—
25年5月期第2四半期	69.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年5月期第2四半期	35,272	20,182	57.1	1,436.23
25年5月期	36,060	19,329	53.5	1,377.08

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 20,141百万円 25年5月期 19,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	18.00	18.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年5月期の連結業績予想（平成25年6月1日～平成26年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,250	4.1	4,825	4.0	4,840	4.1	2,546	3.6	181.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年5月期2Q	14,413,200株	25年5月期	14,399,000株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	389,106株	25年5月期	389,050株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年5月期2Q	14,017,271株	25年5月期2Q	14,009,950株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の超金融緩和政策の実施や政府の経済対策の期待感から、円安や株価の上昇により、証券、金融機関や輸出関連企業を中心に景況感の回復が見られるものの、中国、インド、ブラジル等の新興国における成長の鈍化、原油価格や、小麦などの原材料価格の上昇、建築資材の高騰等から依然として、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、円安による原材料価格の値上げ、消費税増税に向けての節約志向の高まり、さらに業種・業態を超えた価格競争の激化により厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは前期から継続して実行しているコスト削減や、競合店に負けない魅力ある店作りの徹底、小商圏対応型の新フォーマットの開発等、激化する競争環境下において、我社独自の強みを生かした取り組みを行ってまいりました。また、当社グループでは新規出店として、7月にラ・ムー二名店(奈良県奈良市)、11月にディオマート米子やよい店(鳥取県米子市)、さらに新たなエリアとして6月にラ・ムー草津店(滋賀県草津市)、10月にラ・ムー四日市店(三重県四日市市)を出店いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は607億4千6百万円(前年同期比8.8%増)、経常利益は21億1千1百万円(前年同期比7.2%増)、四半期純利益は10億6千2百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、122億5千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6千2百万円減少いたしました。

その主たる変動要因は、商品及び製品の増加(31億9千3百万円から35億6百万円へ3億1千3百万円増加)及びその他流動資産の増加(21億1千9百万円から23億7千6百万円へ2億5千6百万円増加)に対して、現金及び預金の減少(79億2千8百万円から62億7千8百万円へ16億4千9百万円減少)によるものであります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、230億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千3百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、無形固定資産の減少(6億3千3百万円から5億5千4百万円へ7千9百万円減少)に対して、有形固定資産の増加(165億7千万円から167億5千8百万円へ1億8千7百万円増加)と投資その他の資産の増加(55億3千5百万円から57億円へ1億6千4百万円増加)によるものであります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、116億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億2千5百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、その他流動負債の減少(33億2千1百万円から23億3千5百万円へ9億8千5百万円減少)と短期借入金の返済による減少(10億2千6百万円から7億8千7百万円へ2億3千9百万円減少)と買掛金の減少(72億8千5百万円から71億7千5百万円へ1億9百万円減少)によるものであります。

#### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、34億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億1千7百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、資産除去債務の増加(10億6千5百万円から11億5千6百万円へ90百万円の増加)に対し、その他の固定債務の減少(16億6千万円から15億2百万円へ1億5千7百万円の減少)と長期借入金の減少(8億9千8百万円から7億4千7百万円へ1億5千万円減少)によるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、201億8千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億5千3百万円増加いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加(163億4千1百万円から171億5千1百万円へ8億9百万円増加)によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月期通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、連結、個別ともに平成25年7月9日公表の業績予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,928	6,278
受取手形及び売掛金	24	29
商品及び製品	3,193	3,506
原材料及び貯蔵品	61	78
その他	2,119	2,376
貸倒引当金	△6	△12
流動資産合計	13,321	12,258
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,857	10,328
土地	4,118	4,118
その他(純額)	2,593	2,310
有形固定資産合計	16,570	16,758
無形固定資産		
のれん	326	285
その他	307	268
無形固定資産合計	633	554
投資その他の資産		
建設協力金	1,280	1,232
差入保証金	2,311	2,443
その他	1,954	2,047
貸倒引当金	△11	△22
投資その他の資産合計	5,535	5,700
固定資産合計	22,739	23,013
資産合計	36,060	35,272

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,285	7,175
短期借入金	1,026	787
未払法人税等	1,224	1,111
賞与引当金	233	256
その他	3,321	2,335
流動負債合計	13,092	11,667
固定負債		
長期借入金	898	747
退職給付引当金	13	14
資産除去債務	1,065	1,156
その他	1,660	1,502
固定負債合計	3,638	3,421
負債合計	16,731	15,089
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,548	1,566
資本剰余金	1,709	1,728
利益剰余金	16,341	17,151
自己株式	△311	△312
株主資本合計	19,287	20,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	8
その他の包括利益累計額合計	5	8
新株予約権	—	0
少数株主持分	36	40
純資産合計	19,329	20,182
負債純資産合計	36,060	35,272

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	55,808	60,746
売上原価	43,166	46,962
売上総利益	12,641	13,783
販売費及び一般管理費	10,680	11,683
営業利益	1,960	2,100
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	0	0
受取賃貸料	8	13
その他	17	16
営業外収益合計	38	42
営業外費用		
支払利息	28	19
貸倒引当金繰入額	—	11
その他	0	0
営業外費用合計	29	31
経常利益	1,970	2,111
特別損失		
減損損失	15	—
特別損失合計	15	—
税金等調整前四半期純利益	1,954	2,111
法人税、住民税及び事業税	1,050	1,077
法人税等調整額	△78	△31
法人税等合計	971	1,045
少数株主損益調整前四半期純利益	983	1,066
少数株主利益	3	4
四半期純利益	979	1,062

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	983	1,066
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	2
その他の包括利益合計	2	2
四半期包括利益	985	1,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	982	1,064
少数株主に係る四半期包括利益	3	4

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,954	2,111
減価償却費	930	1,073
賞与引当金の増減額(△は減少)	11	22
減損損失	15	—
のれん償却額	40	40
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	16
受取利息及び受取配当金	△13	△13
支払利息	28	19
建設協力金の家賃相殺額	60	59
預り建設協力金の家賃相殺額	△8	△8
売上債権の増減額(△は増加)	△21	△5
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355	△330
その他の流動資産の増減額(△は増加)	53	△159
仕入債務の増減額(△は減少)	△252	△109
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△182	△136
その他の固定負債の増減額(△は減少)	16	18
その他	8	10
小計	2,288	2,609
利息及び配当金の受取額	3	2
利息の支払額	△27	△18
法人税等の支払額	△1,004	△1,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,260	1,435
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△21	△8
定期預金の払戻による収入	—	260
投資有価証券の取得による支出	—	△7
有形固定資産の取得による支出	△1,804	△2,025
無形固定資産の取得による支出	△30	△47
差入保証金の差入による支出	△89	△135
差入保証金の回収による収入	4	3
建設協力金の支払による支出	△78	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△628	—
短期貸付金の回収による収入	4	10
長期貸付けによる支出	△24	—
長期貸付金の回収による収入	—	1
その他	31	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,636	△1,945

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△100	△230
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△326	△159
リース債務の返済による支出	△249	△282
株式の発行による収入	—	36
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△252	△252
財務活動によるキャッシュ・フロー	71	△887
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,305	△1,398
現金及び現金同等物の期首残高	6,945	7,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,639	6,107

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。